

II 千葉キャンパス

1 年間の諸行事・諸活動

2005(平成17年)度 学年暦 総合福祉学部 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	金 第41回入学式 教務オリエンテーション 1年次 英語クラス分け試験 全教員会	1	日	1	水 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	1	金 七夕祭り	1	月 前学期集中授業 ボランティア講座開催	1	木 前学期成績発表
2	土 日本語能力試験	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金
3	日	3	火 祝日(憲法記念日)	3	金	3	日	3	水	3	土
4	月 新入生セミナー 履修相談	4	水 祝日(国民の休日)	4	土	4	月	4	木	4	日
5	火	5	木 祝日(こどもの日)	5	日	5	火	5	金 追試験日程発表 ↓	5	月 再試験願書締切 保育セミナー開催 ↓
6	水 学生厚生1年生オリエンテーション(社会福祉・編入学生) 胸部X線撮影	6	金	6	月 保育実習Ⅱ	6	水	6	土 (前期・集中授業予備日)	6	火
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日	7	水
8	金 学生厚生1年生オリエンテーション(心理・社会)	8	日	8	水	8	金 盂蘭盆会(3、4時限休講)	8	月 追試験期間 ↓	8	木 全教員会
9	土	9	月 履修相談	9	木	9	土	9	火 ↓	9	金
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土 前学期授業終了 再試験日程発表
11	月 履修相談	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日
12	火 日本学生支援機構貸与奨学金説明会 ↓	12	木	12	日 第1回オープンキャンパス	12	火	12	金	12	月
13	水 授業開始 図書館夜間開館(6/30迄) ↓	13	金 降誕会(1、2時限休講)	13	月	13	水	13	土	13	火 再試験期間 ↓
14	木 前期履修登録受付開始	14	土	14	火	14	木	14	日	14	水
15	金	15	日	15	水	15	金	15	月	15	木
16	土	16	月	16	木	16	土	16	火 天津大学夏季語学研修出発(9/13迄)	16	金
17	日	17	火	17	金	17	日	17	水	17	土 AO入試(1期)
18	月	18	水	18	土	18	月 祝日(海の日)	18	木	18	日
19	火	19	木	19	日	19	火 前学期補講	19	金	19	月 祝日(敬老の日)
20	水 学生定期健康診断 ↓	20	金 卒論・論演・卒リポ仮題目届提出締切	20	月	20	水	20	土	20	火
21	木	21	土	21	火	21	木 前学期試験	21	日	21	水 後学期授業開始 後期履修登録受付開始
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月	22	木 4年生対象・卒業条件確認教務オリエンテーション
23	土 創立記念日(休日)	23	月 教育実習Ⅰ	23	木	23	土	23	火	23	金 祝日(秋分の日)
24	日	24	火 献血 ↓	24	金	24	日 第2回オープンキャンパス	24	水 米国英語研修(9/6まで)	24	土
25	月 履修登録締切 ↓	25	水	25	土	25	月	25	木	25	日 第4回オープンキャンパス
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金 第10回ブリストル大学短期留學生出発(3/16迄)	26	月
27	水	27	金	27	月	27	水	27	土 第3回オープンキャンパス	27	火
28	木	28	土 第2回スポーツ大会(休講) ↓	28	火	28	木 ブラジル研修(9/10迄) ↓	28	日	28	水
29	金 祝日(みどりの日)	29	日	29	水	29	金 前学期集中授業	29	月 社会福祉研究所 発達臨床セミナー開催	29	木
30	土	30	月 教育実習Ⅱ	30	木	30	土	30	火	30	金 履修登録締切
31	日	31	火	31	日	31	日	31	水 仮卒業判定	31	日

2005(平成17年)度 学年暦 総合福祉学部〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 土	編入学試験(第1回)	1 火		1 木		1 日	祝日(元旦)	1 水	後学期集中授業	1 水	リーダーズキャンプ
2 日		2 水		2 金	成道会(3、4時限休講)	2 月		2 木	追試験日程発表	2 木	
3 月		3 木	祝日(文化の日)	3 土	編入学試験(第2回)	3 火		3 金	A方式入学試験(第1日)	3 金	
4 火		4 金	龍澤祭準備(午後休講)	4 日		4 水		4 土		4 土	
5 水		5 土	龍澤祭 第5回オープンキャンパス	5 月		5 木		5 日	外国人留学生入試、AO編入学試験(第1回)	5 日	
6 木		6 日	第6回オープンキャンパス	6 火		6 金		6 月	追試験期間	6 月	
7 金		7 月	龍澤祭後片付け(午前休講)	7 水		7 土	授業開始	7 火		7 火	親子セミナー開催
8 土		8 火		8 木	サイレントナイトパーティー	8 日		8 水		8 水	
9 日		9 水		9 金		9 月	祝日(成人の日)	9 木		9 木	
10 月	祝日(体育の日)	10 木		10 土		10 火		10 金		10 金	
11 火	履修相談	11 金		11 日		11 水		11 土	祝日(建国記念の日)	11 土	
12 水		12 土		12 月	卒論・論演・卒リポ受付開始	12 木		12 日		12 日	
13 木		13 日	推薦入学試験(指定校・公募・社会人・帰国生徒等)	13 火		13 金		13 月		13 月	AO編入学試験(第2回)
14 金		14 月		14 水		14 土		14 火		14 火	
15 土		15 火		15 木		15 日		15 水	後学期成績発表	15 水	第38回卒業式 卒業記念パーティー
16 日		16 水		16 金	卒論・論演・卒リポ提出締切	16 月		16 木	後学期授業終了	16 木	
17 月	障害児教育実習	17 木		17 土	AO入試(Ⅱ期)、卒業生子女入試	17 火		17 金		17 金	
18 火		18 金		18 日	第8回オープンキャンパス	18 水	後学期試験	18 土	再試験願書締切	18 土	
19 水		19 土		19 月		19 木		19 日		19 日	
20 木		20 日		20 火	後学期集中授業	20 金	※後学期定期試験(午前のみ) 大学入試センター試験準備	20 月		20 月	祝日(春分の日)
21 金	卒論・論演・卒リポ題目届提出締切	21 月		21 水		21 土	大学入試センター試験	21 火	再試験日程発表	21 火	
22 土		22 火		22 木	年内授業終了	22 日		22 水		22 水	
23 日		23 水	祝日(勤労感謝の日)	23 金	祝日(天皇誕生日)	23 月		23 木	再試験期間	23 木	
24 月		24 木		24 土		24 火		24 金		24 金	
25 火		25 金		25 日		25 水		25 土		25 土	
26 水		26 土		26 月		26 木	後学期集中授業・卒論口述諮問	26 日	ブリストル大学春季語学研修(3/18迄) ヨーロッパ社会福祉研修(3/18迄) SL方式	26 日	
27 木		27 日	第7回オープンキャンパス	27 火		27 金	総合福祉学部ジョブフェア	27 月		27 月	
28 金		28 月		28 水		28 土		28 火		28 火	
29 土		29 火	献血	29 木		29 日		/		29 水	
30 日		30 水		30 金		30 月		/		30 木	
31 月		/		31 土		31 火		/		31 金	

2005(平成17年)度 学年暦 大学院 総合福祉研究科 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	金 第17回入学式 オリエンテーション	1	日	1	水	1	金	1	月	1	木
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	3	土
4	月	4	水	4	土	4	月	4	木	4	日
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金 前学期成績報告締切	5	月
6	水	6	金 履修登録締切 社専協委託聴講(研究予定題目届等締切)	6	月	6	水	6	土	6	火
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日	7	水
8	金	8	日	8	水	8	金 盂蘭盆会(3、4時限休講)	8	月	8	木
9	土	9	月	9	木	9	土 入試説明会	9	火	9	金
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日
12	火 指導教員希望届締切	12	木	12	日	12	火	12	金	12	月
13	水 前学期授業開始	13	金 降誕会(1、2時限休講)	13	月	13	水	13	土	13	火
14	木 指導教員の確定(専攻会議)	14	土	14	火	14	木	14	日	14	水
15	金 指導教員の発表	15	日	15	水	15	金	15	月	15	木
16	土	16	月 履修確認期間 修士論文題目届受付	16	木	16	土 論文中間発表会	16	火	16	金 心理学専攻修士課程特別選抜入試
17	日	17	火	17	金	17	日	17	水	17	土
18	月	18	水	18	土	18	月	18	木	18	日
19	火	19	木	19	日	19	火 修士論文題目届受付(本年度修了予定者のみ提出)	19	金	19	月
20	水	20	金 修士論文題目届締切	20	月	20	水	20	土	20	火
21	木	21	土	21	火	21	木	21	日	21	水
22	金	22	日	22	水	22	金 修士論文題目届締切	22	月	22	木
23	土 創立記念日(休日) 指導教員希望届締切	23	月	23	木	23	土 前学期授業終了	23	火	23	金
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水	24	土
25	月	25	水	25	土	25	月 補講・集中講義開始	25	木	25	日
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	26	月 前学期成績評価表配布開始 修士論文題目変更届受付
27	水	27	金 履修者名簿配布	27	月	27	水	27	土	27	火
28	木	28	土	28	火	28	木	28	日	28	水
29	金	29	日	29	水	29	金 補講・集中講義終了	29	月	29	木
30	土	30	月	30	木	30	土	30	火	30	金 修士論文題目変更届締切
31	日	31	火	31	金	31	日	31	水	31	木

2005(平成17年)度 学年暦 大学院 総合福祉研究科〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 土	後学期授業開始	1 火		1 木		1 日	祝日(元旦)	1 水		1 水	
2 日		2 水		2 金	成道会(3、4時限休講)	2 月		2 木		2 木	
3 月		3 木		3 土		3 火		3 金	A方式入試(休講)	3 金	修了者発表(掲示)
4 火		4 金	龍澤祭準備(午後休講)	4 日		4 水		4 土		4 土	
5 水		5 土	龍澤祭(休講)	5 月		5 木		5 日		5 日	
6 木		6 日		6 火		6 金		6 月		6 月	
7 金		7 月	龍澤祭片付け(午前休講)	7 水		7 土	授業開始	7 火		7 火	
8 土	前期課程・修士課程 第1回入学試験	8 火		8 木		8 日		8 水		8 水	
9 日		9 水		9 金		9 月	祝日(成人の日)	9 木		9 木	
10 月		10 木		10 土		10 火	修士論文提出受付開始	10 金		10 金	
11 火		11 金		11 日		11 水		11 土	前期課程・修士課程 第2回入学試験 後期課程 入学試験	11 土	
12 水	前期課程(2年次生)修士論文発表会	12 土		12 月		12 木		12 日		12 日	
13 木		13 日		13 火		13 金		13 月	修士論文口述試問期間	13 月	後学期成績評価表配布開始
14 金		14 月		14 水		14 土		14 火		14 火	第16回 学位記授与式
15 土		15 火		15 木		15 日		15 水	補講・集中講義終了 修士論文口述試問	15 水	
16 日		16 水		16 金		16 月		16 木		16 木	
17 月		17 木		17 土	授業終了	17 火		17 金	後学期講義科目等の成績報告書締切 修士論文口述試問	17 金	
18 火		18 金		18 日		18 水		18 土		18 土	
19 水		19 土		19 月		19 木		19 日		19 日	
20 木		20 日		20 火		20 金	大学入試センター試験準備(午後休講)	20 月	修士論文発表会・中間発表会(専攻会議)	20 月	
21 金		21 月	修士論文題目変更届受付	21 水		21 土	大学入試センター試験(休講)	21 火	修士論文中間報告会	21 火	
22 土		22 火		22 木		22 日		22 水	研究中間発表会(第1日)	22 水	
23 日		23 水		23 金		23 月		23 木	研究中間発表会(第2日)	23 木	
24 月		24 木		24 土		24 火		24 金		24 金	
25 火		25 金	修士論文題目変更届締切	25 日		25 水		25 土		25 土	
26 水		26 土		26 月		26 木	後学期授業終了	26 日		26 日	
27 木		27 日		27 火		27 金	修士論文提出締切 補講・集中講義開始	27 月		27 月	
28 金		28 月		28 水		28 土		28 火		28 火	
29 土		29 火		29 木		29 日		/		29 水	
30 日		30 水		30 金		30 月		/		30 木	
31 月		/		31 土		31 火		/		31 金	

2 教育事業

・「総合福祉学部」への学部名称変更

本学部は、社会福祉の大学(学部)として 40 年の歴史と伝統を持っている。建学の精神である「共生の理念・実学教育」のもとに、“福祉の淑徳”を前面に掲げるべく、学部名称を平成 17 年 4 月入学生より「総合福祉学部」に変更した。

なお、学科の名称については、学部名称変更の前提となる学部全体としての人材育成方針および教育課程の再編成を踏まえ、平成 18 年度より変更することとなっている。

・総合福祉学部カリキュラムの改訂(平成 17 年度施行)

本学部に入学者の学習ニーズ、とくに免許資格の取得等における要望等を充足しうるように学部ならびに学科における履修システムの簡素化等、学部全体の教育課程の見直しを行い、カリキュラム表を改訂した。平成 17 年度以降入学生に適用する総合福祉学部カリキュラムは(『基礎データ等』別表 1)を参照されたい。

・履修科目のWEB登録制度の本格運用開始

本学部では、これまで「複写式履修登録票」の窓口提出方式により履修登録を実施してきた。しかし、この方式は学生の履修登録が諸規程に合致しているのか等の業務処理に多大な時間を要していた。学生の履修登録確認の迅速化ならびに履修指導の充実のため、平成 16 年度後学期に試行的に WEB 上の履修登録方式を実施した。そこで析出された履修登録上の問題点等を除去し、平成 17 年 4 月より WEB による登録制度を全面的に実施している。

・社会福祉系 3 実習教育の統合

社会福祉現場実習、精神保健福祉実習、保育実習の社会福祉系 3 実習教育について、これらの実習教育を充実・発展させるとともに、適性かつ円滑に運営することを目的に、これまでの「社会福祉実習指導センター」を発展させた実習教育部署として「社会福祉実習教育センター」を設置した。これにあわせて、「総合福祉学部社会福祉実習教育センター運営委員会の設置並びに運営規程」、「総合福祉学部保育実習運営委員会規程」、「総合福祉学部精神保健福祉現場実習運営委員会規程」を設けるとともに、その他の関連する諸規程を整備した。

・学習支援室の設置による学習支援体制の整備

平成 17 年 4 月 1 日に事務機構の一部改編を行い「学生相談センター」の事務機能として「学習支援室」を設けた。これにより、学生相談センターには保健相談室、学生相談室、そして学習支援室が設置されることとなり、相互に情報の共有と連携を図ることによって、学生生活上あるいは履修上等の種々の困難な状態に対する総合的な支援体制が整備された。

学習支援室の業務は、第 1 に学生生活を送るうえでの様々な困難に対する「支援窓口機能」である。具体的には、「修学上の相談」：学業・学習意欲・学業不振・学費等、「進路相談」：進学・転学・留学・休学・退学・将来の希望等、「学生生活上の相談」：経済関係の相談(奨学金、保護者の失業等)、「障害学生の支援」：授業への配慮、ノートテイク、その他

の学習上の配慮等である。第2に、種々の要因・背景に起因する「要サポート学生」全般に対する「支援体制の強化・充実」である。具体的には、前・後学期履修未登録者への対応、前・後学期出席不良及び成績不良学生の調査並びに呼び出しへの対応、学費未納・学費納入困難学生への対応である。第3に、円滑な学生生活につなげるために「入学前教育・導入教育」の一環として位置づけられる入学予定者対象のサマーセミナー(旧ボランティア講座)、ウインターセミナー、スプリングセミナー(旧親子セミナー)の企画・運営も担当している。

・学部における授業公開

本学部の専任教員が担当する講義形式の授業については、本年度後学期より公開されている。本制度の目的は、講義担当者自らが授業方法と内容等を検証することを通じて全学部的なFDの組織的展開を目指すものであり、あわせて本学部の知的資産を広く社会に還元しようとするものである。講義担当者の許可を得た高校生、受験志望者及びその保護者、高等学校教諭並びに在学生の保護者等が対象である。平成17年度後学期分の公開授業科目と担当教員等は以下のとおりである。

平成17年度 後学期 授業公開科目一覧 平成17年11月9日現在

No.	曜日	時限	公開科目名	教員名
1	月	2	環境社会学	柘淵 俊子
2	月	2	臨床心理学概論Ⅱ	千葉 浩彦
3	月	3	自閉児の発達臨床	宇佐川 浩
4	月	3	比較文学	白井 伊津子
5	月	3	教育相談	桜井 美加
6	火	1	地域福祉論Ⅱ	山本 美香
7	火	2	公共政策と社会運動	下山 昭夫
8	火	2	保育原理Ⅱ	榎沢 良彦
9	火	2	経済学(国際経済を含む)	横山 隆作
10	火	3	生活システム論特講(医療社会学)	時井 聡
11	火	4	中国語基礎ⅡD	ト 雁
12	水	1	老人福祉論ⅡB	藤野 達也
13	水	1	小児保健学ⅡA	松田 博雄
14	水	1	社会福祉援助技術論Ⅲ	渋谷 哲
15	水	3	コミュニケーション心理学	大橋 靖史
16	木	1	経済政策論	横山 隆作
17	木	2	障害児の医学ⅡA	松田 博雄
18	木	2	世代論	青柳 涼子
19	木	2	社会学概論Ⅱ	松田 苑子

20	木	3	中国語中級Ⅱ	ト 雁
21	金	1	児童福祉論ⅡA	柏女 霊峰
22	金	2	医学一般ⅡA	松田 博雄
23	金	2	心理学概論Ⅱ	田中 一彦
24	金	2	東アジア社会論	松蘭 祐子
25	金	2	財政・金融論	田中 秀親
26	金	2	中国語基礎ⅡC	ト 雁
27	金	3	老人福祉論ⅡA	下山 昭夫
28	金	4	逸脱行動論	野田 陽子
29	金	4	中国語上級Ⅱ	ト 雁
30	土	1	障害児発達臨床心理学	宇佐川 浩

・資格取得等状況

1. 国家資格の取得状況

(人)

	15年度	16年度	17年度	備考
1. 社会福祉士試験合格者	95	101	71	
2. 精神保健福祉士試験合格者	2	11	9	
3. 保育士資格登録者	56	46	70	

2. 資格取得支援講座等実施状況

(人)

講座名	受講者	受験者	合格者	合格率%	備考
1. ホームヘルパー資格取得講座	105	105	103	98.1	
2. 秘書検定準1・2級受検講座	18	18	18	100.0	
3. 保育士養成講座	5	不明	不明	—	
4. 資格取得パソコン講座	26	25	20	80.0	マイクロソフト・スペシャリスト
5. 社会福祉士試験対策講座	223	268	71	26.5	講座未受講者含む

・卒業生等の進路状況

1. 総合福祉学部

平成17年度における卒業生数746名、このうち就職希望者数は595名、就職内定者数は571名であり就職率は96.0%と過去最高の就職率となった。一方、就職内定者以外では大学院進学12名、その他の進学20名、卒業後も就職活動継続が24名、次年度公務員・大学院など再受験のための浪人は21名、就職意思無し・進路不明が98名であった。

総合福祉学部卒業生の進路状況 平成 18 年 3 月卒業

(人)

項目 / 学科	社会福祉学科		心理学科		社会学科		学部計		
		増減		増減		増減		増減	
①卒業生	435	△3	161	9	150	△17	746	△11	
②就職希望者	365	△9	104	6	126	△3	595	△6	
就職希望比率②/①%	83.9%	1.5%	64.6%	0.1%	84.0%	6.8%	79.8%	0.4%	
内 訳	③就職内定者	350	△3	102	17	119	7	571	21
	(③/①)%	80.5%	△0.1%	63.4%	7.5%	79.3%	12.2%	76.5%	3.8%
	(③/②)%	95.9%	1.5%	98.1%	11.4%	94.4%	7.6%	96.0%	4.5%
	④就職活動継続者 内、公務員再受験	21	△21	5	△18	9	△14	35	△53
	6	△15	3	△7	2	△4	11	△26	
⑤就職を希望しない	12	△8	23	△8	7	△8	42	△24	
内 訳	大学院進学	1	△1	10	△1	1	△4	12	△6
	その他の進学	8	△9	7	△6	5	2	20	△13
	大学院再受験	0	△1	5	△2	0	△7	5	△10
	その他の進学再受験	3	3	1	1	1	1	5	5
⑥就職の意思無し	36	20	26	15	10	0	72	35	
⑦不明	16	9	5	3	5	△2	26	10	

2. 総合福祉研究科

平成 17 年度修了の大学院生は 31 名、うち就職決定は 26 名(内訳：企業 2 名・福祉医療関連 4 名・教員 5 名・上記以外 15 名)、進学は 3 名、その他 2 名であった。

3. 教員・公務員試験合格者数 総合福祉学部

(人)

	15 年度	16 年度	17 年度	備考
1. 教員採用試験	12 (10)	35 (26)	33 (17)	臨時採用含む・()既卒
2. 公務員試験	21	23	20	

4. 卒業生の就職先

公務員・教員

千葉県精神保健相談員、東京都福祉保健局、千葉市保育職、市原市保育職、千葉県成東町保育職、千葉県松尾町保育職、新宿区保育職、品川区保育職、板橋区保育職、警視庁、千葉県警、埼玉県警、富山県警、千葉県内養護学校（市立船橋養護学校・県立東金養護学校・市川市立養護学校・県立夷隅養護学校・県立桜ヶ丘養護学校、県立我孫子養護学校）、都立小岩養護学校、埼玉県立上尾養護学校、私立旭出養護学校、千葉県立成田陵高等学校〔特別支援クラス〕、千葉県立東金高等学校、千葉市立小学校、群馬県大泉町立西中学校、

私立松原女子高等学校、江東区学童クラブ、日本郵政公社、茨城西南広域消防署

社会福祉分野

■保健医療機関

(医)板橋中央総合病院グループ、(財)筑波メディカルセンター、市立柏病院、(医)鉄蕉会、(医)財団新和会、(医)平成会、(医)菊田会、(医)成仁病院、(医)秀峰会、(医)南総病院、(医)優和会、(医)八香会、(医)永寿会、(医)翠明会、(医)豊辰会、(医)優慈会、(医)グリーンエミネンス、(医)光潤会、(医)創造会、(医)琢心会、(医)総和会、(医)ハート、(医)有相会、富士見高原病院、帝京大学医学部付属市原病院、ふるもと整形外科クリニック、あかねこどもクリニック、(医)天道会、弁天メンタルクリニック、(医)千歳会、(医)シルヴァーサービス、

■老人福祉施設

(財)千葉県老人クラブ連合会、(福)清和会、(福)清和園、(福)緑風会、(福)晴山会、(福)ひまわり会、(福)春風会、(福)芳洋会、(福)聖風会、(福)市川会、(福)郡山福祉会、(福)華翔会、(福)正吉福祉会、(福)涼風会、(福)真和会、(福)神聖会、(福)竹生会、(福)ファミリー、(福)埼玉県共済会、(福)清澄会、(福)久喜同人会、(福)柚子の会、(福)三幸会、(福)清風会、(福)常盤会、(福)ウエルス東京、(福)新柏会、(福)創世福祉事業団、(福)沼風会、(福)八ヶ岳名水会、(福)流山あけぼの会、(福)修央会、(福)東京清音会、(福)長岡三古老人福祉会、(福)清徳会、(福)勝曼会、(福)誠友会、(福)檜山福祉会、(福)元心会、(福)うらら、(福)寿好会、(福)栄興会、(福)善仁会、(福)ハッピーネット、(財)日本老人福祉財団、(福)横浜太陽会、(福)敬寿会、(福)八千代美香会、(福)敬老園、(福)萩会、(福)江戸川豊生会、(福)延寿会、(福)安房広域福祉会

■成人福祉施設

(福)大久保学園、(福)千葉市手をつなぐ育成会、(福)翠昂会、(福)さざんか会、(福)佑啓会、(福)まつど育成会、NPO ピア江東、(福)清輝会、(福)サンワーク、(福)菜の花会、(福)和枝福祉会、(福)千葉アフターケア協会、(福)敬心福祉会、(福)南台五光福祉協会、(福)ゆめグループ福祉会、(福)阿賀北福祉会、NPO 障害児・者エンジョイサポートぶるーむ、市川かえでの会、(福)春涛会

■複合施設団体

(福)至誠学舎立川、(福)愛光、(福)聖隷福祉事業団、(福)ロザリオの聖母会、(福)上越頸城福祉会、(福)市川市社会福祉協議会、(福)川口市社会福祉協議会、(福)千葉県福祉援護会、(福)長岡福祉協会、(福)すかい、NPO パーソナル・アシスタントとも、(福)芳香会、

■児童福祉施設

(福)マハヤナ学園、(福)大成会、(福)東京児童協会、(福)和孝福祉会、(福)雲柱社、(福)一粒会、(福)共生会、(福)チルドレン・パラダイス、(福)すみれ会、(福)桐友学園、(福)復光会、(福)芙蓉会、(福)星光会、(福)誠和会、(福)わかみや福祉会、(福)一樹福祉会、(福)愛光学舎、(福)豊福祉会、(福)エスオーエスこどもの村、(福)房総双葉学園、(福)健善富会、(福)阿佐ヶ谷保育園、(福)羽生福祉会、(福)融合会、(福)芳雄会、(福)聖隷会、(福)翠生会、(福)ずくぼんじょ、(福)高砂福祉会、横浜 YMCA、(福)日輪福祉会、(福)春涛会、(財)富木田保育園、キッズガーデン八千代緑ヶ丘、NPO プリスクール西五反田、

企業分野

■福祉・医療関係企業

フランスベッドメディカルサービス(株)、コニカ・ミノルタメディカル(株)、(株)ヤマシタコーポレーション、イワツキ(株)、(株)シンリョウ、(株)セントラルメディカルサービス、(株)イノベーションオブメディカルサービス、(株)メデカジャパン、(株)ニチイ学館、アースサポート(株)、日本シルバーサービス(株)、(株)リエイ、(株)ベストライフ、(株)ライフコミュニケーション、ワタキョウセイモア(株)、アビリティーズ・ケアネット(株)、セントスタッフ(株)、(株)前進会、(株)大起エンゼルヘルプ、東京海上日動サミュエル(株)、グッドウィルグループ(株)、(株)やさしい手、(株)コムスン、(株)シルバートップ、(株)トーカイ、ケアサポート(株)、(株)日本ケアクオリティ、(有)

ビーイング、(有)愛ブライトケア、(有)アドラップ、(有)なごみ、(株)日本保育サービス、(株)ポピンズコーポレーション、(株)こどもの森、(株)コティ、(株)ライフネット、(株)メッセージ

■建設・不動産・製造・電力・運輸

戸田建設(株)、新日本建設(株)、広島建設(株)、東方工業(株)、(株)長谷工アーベスト、(株)木下リモデル、大東建託(株)、(株)スターツ、(株)おゆみの住宅、日本ハウス(株)、(株)センチュリー21・ジャパン、(株)ミニミニ、(株)日本ランドシステム、(株)ワールドフェニックス、(株)エフ・ジェ・ネクスト、(株)S-FIT、(株)青山メインランド、(株)三経本社、(株)レオパレス 21、ハウスコム(株)、(株)アパマンショップネットワーク、(株)エムシーコーポレーション、(株)ジャパンライフ、(株)プリンセススクエア、東栄商事(株)、(株)フェスタ、ザクテクノサービス(株)、島帆ハウス(株)、松定プレジジョン(株)、(株)石山、佐川印刷(株)、文化シャッター(株)、(株)EBM、ジャパンエンジニアリング(株)、(株)富士セラミックス、(株)精工技研、(株)ジェイエエルエヌ、タンポポ産業(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東京空港交通(株)、

■金融・保険

(株)三井住友銀行、(株)りそな銀行、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行、(株)青森銀行、千葉信用金庫、佐原信用金庫、大和証券(株)、明和証券(株)、日本生命保険(相)、住友生命保険(相)、第一生命保険(相)、明治安田生命保険(相)、SMB C融資事務サービス(株)、プロミス(株)、(株)クレディセゾン、(株)クレディア、日本取引(株)、(株)ロプロ、(株)SFCG、セントラルファイナンス(株)、アリコジャパン

■卸・小売

千葉トヨペット(株)、千葉トヨタ自動車(株)、ネッツトヨタ千葉(株)、ネッツトヨタ南千葉(株)、ダイハツ千葉販売(株)、埼玉トヨペット(株)、(株)タウ、日昇自動車(株)、(株)アイエム自販、(株)セブンイレブンジャパン、日本トイザラス(株)、(株)カインズ、(株)OLYMPIC、(株)AOKI ホールディングス、(株)九九、プラス、(株)アブアブ赤札堂、青山商事(株)、たけうちグループ、(株)大塚家具、(株)ヨドバシカメラ、(株)サンリオ、(株)長崎屋、(株)ワールドストアパートナーズ、(株)メガネスーパー、(株)キディランド、(株)富士薬品、カワチ薬局(株)、カネボウ化粧品販売(株)、(株)かねたや家具店、(株)大塚商会、光通信(株)、ギガスケーズデンキ(株)、(株)東京エコー、錦商事(株)、(株)三鈴、(株)日本管材センター、キャピタル(株)、ギャップジャパン(株)、サンワサプライ(株)、(株)久月、(株)ゼンゾー、ジャパンライフ(株)、(株)タニックス、P&M、(有)エンディアンドエンディ、(株)ウエルパーク、(株)千雅、(株)マルイエムズモード、(株)ニップコーポレーション、(株)コバヤシ、(株)昭栄、(株)フジオックス、(株)鈴屋、(株)オグラ、(株)スマイルズ、(株)ファイブフオックス、シャイニングサービス(株)、(株)植草園、(株)パル、(株)江商、(株)堀江商会、(株)精美堂、(株)ベリテ、HAKKA グループ、TT コーポレーション(株)、(株)山口封筒店、ジャベル(株)

■マスコミ・サービス・その他

(株)オリエンタルランド、(株)JTB トラベラント、(株)エイチ・アイ・エス、東和観光(株)、(株)明友旅行、(株)博全社、(株)グリーンホテルシステムズ、NTT システム技研(株)、(株)全商コンピュータサービス、NIC ソフト(株)、(株)一広、(株)アイエスエフネット、(株)テクノウエイブ、(株)イマージュ・ネット、(株)エーシーイー、(株)東京テレマーケティング、(株)ライブドアコミュニケーションズ、(株)ジュピタルフィフティオンズ、総合警備保障(株)、日本総業(株)、(株)企業通信システムエンジニアリング(株)、(株)有朋社、(株)スタッフサービス、オメガエンジニアリング(株)、(株)フジスタッフ、ヒューマン(株)、(株)パソナテック、(株)毎日コミュニケーションズ、ユメックス(株)、(株)市進、ヤマハ音楽教室、(株)明光ネットワークジャパン、(株)オール5、(株)アビバ、(株)ビジュアルビジョン、(株)セキネ、東京リーガルマインド(株)、エルベック教育図書センター(株)、(株)拓人、三幸グループ、(株)全労災リブ、(株)アスカ、(株)アインファーマシーズ、HLS(株)、(株)オーク、(株)ハーフタイム、(株)クロスキャット、(株)ルネサンス、丸梅(株)、(株)リーデン、(株)成田デンタル、(株)メイアイ、コミー(株)、NATURE BOY INC.、(株)サウンドハウス、(株)GAIN、(株)キャリアバン、(株)クリエイティブホールディングス、(株)クラブヤマノフェイシャルガーデン、(株)リバーズ東京、(株)不二ビューティ、(株)馬車道、(株)ロッテリア、(株)焼肉屋サカイ、(株)日本レストランエンタープライズ、(株)あきんどスシロー、チムニー(株)、(株)デニ

ーズジャパン、(株)くらコーポレーション、ワタミ(株)、(株)銚子丸、(株)メガメッセ、(株)ゼロン、(株)ダイナム、(株)華屋与兵衛

団体・組合・教育機関等

学校法人大乗淑徳学園、淑徳大学発達臨床センター、全国共済農業協同組合連合会、いすみ農業協同組合、長生農業協同組合、越後さんとう農業協同組合、柏崎農業協同組合、漁船保険中央会、勝又健康保険組合、全国養護共済会、コープ東京、生活協同組合エル、海外青年協力隊、石川県立能登少年自然の家

3 研究活動

・文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業のオープン・リサーチ・センター整備事業

総合福祉研究科では、児童虐待・高齢者虐待・ドメスティック・バイオレンス、さらに医療・看護・福祉等の領域における専門職による虐待現象を捉え、その実態と要因、影響等を、心理学、社会学、社会福祉学の3つの視点から総合的に把握するためのプロジェクトを展開している。本プロジェクトは、平成14年度から18年度までの総合的な研究として展開中であり、今日の日本社会に見られる人間関係の病理、社会や集団の病理現象の現状を明らかにするとともに、種々の虐待に対する実現可能で効果的な福祉的対応を展望するところにある。

本プロジェクトでは、①虐待者、被虐待者の臨床的研究、②虐待現象とその要因に関する実態研究、③人びとの虐待観の研究を通じて、④総合的な虐待研究モデルを構築することをねらいとしている。

なお、本プロジェクトは、「研究者養成型」プロジェクトとして、大学院の在籍学生や修了生を研究に参加させて指導を行うとともに、学部教育においてもプロジェクト対応の授業科目を設置し、心理臨床や社会調査の基礎的素養を有する人材の育成も視野に入れている点が特徴点となっている。

虐待に関する文献調査とケーススタディから得られた仮説的知見・仮説的モデル大規模統計調査によって定量的に検証すべく、すでに平成17年3月末から4月末にかけて、郵送法による統計調査が行われている。これらの一連の研究成果は、平成15年11月以降、公開講座、公開シンポジウム等の方法により、これまでに7度にわたって対外的に公表されている。

・科学研究費補助金等の受給状況

1.平成17年度日本学術振興会科学研究費補助金

総合福祉学部

単位千円

研究種目	研究者	区分	課題内容	17年度	18年度
1.基盤研究B1	長谷川 匡俊	継続	地域における社会福祉形成史の総合的研究	4,900	-
2.基盤研究C1	齋藤 順子	継続	高齢者のQOLの向上を目指したケアマネジメント実践に向けての基礎研究	1,000	-

3. 若手B	神 信人	継続	リーダーへの権力委託による社会的ジレンマ解決の実証的研究	1,100	1,100
--------	------	----	------------------------------	-------	-------

2. 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金

総合福祉学部

単位千円

研究種目	研究者	区分	課題内容	17年度
1. 長寿科学総合研究事業	多々良 紀夫	継続	高齢者虐待の早期発見及び早期介入システムに関する国際的研究 (H16-長寿-030) 2年計画の2年目	2,793
2. 子ども家庭総合研究事業	柏女 霊峰	新規	子ども家庭福祉サービス供給体制のあり方に関する総合的研究	2,880

・学位の取得状況 (平成 15～17 年度)

2003(平成 15)年度

氏名等	取得日	授与大学	学位名	学位論文題目
長谷川 匡俊 社会学部教授	2004 年 3 月 8 日	大正大学	博士(文学)	近世の念仏聖無能と民衆
榎湯 俊子 社会学部教授	2004 年 3 月 23 日	お茶の水女子大学	博士(社会科学)	有機農業運動の展開と<提携>のネットワークの形成

2004(平成 16)年度

木村 登紀子 社会学部教授	2005 年 3 月 10 日	東北大学	博士(文学)	医療の現場における患者と家族の心理的研究
------------------	--------------------	------	--------	----------------------

2005(平成 17)年度

該当者なし

・学内で開催された学会等

- 平成 15 年度
1. 子ども家庭福祉学会 (世話人 柏女教授)
 2. 淑徳大学社会福祉学会
- 平成 16 年度
1. 司法福祉学会 (世話人 小木曾助教授)
 2. 淑徳大学社会福祉学会
 3. ビハーラ学会 (池袋サテライト・キャンパス)
- 平成 17 年度
1. 淑徳大学社会福祉学会

4 社会貢献活動

・ 総合福祉学部

1. 公開講座

本学部独自の公開講座は、研究公開委員会の所掌のもとに、千葉市の助成を得て、原則、秋季に共通テーマのもと全5回の講座がなされている。公開講座には、本学部における研究・教育活動の成果を社会および地元還元するという意味もあり、講師は本学教員を中心に協力を仰いで実施している。また、講座の充実を図るため外部講師も招聘している。

平成17年は淑徳大学創立40周年にあたり、これを期に学部の名称を総合福祉学部とあらため、「福祉の淑徳」の原点に立ち返って学部改革をすすめていた。そこで、平成17年度の公開講座の共通テーマを「福祉のある地域づくり」とし、地域における社会開発を第一義と捉えていた学祖の精神を本学部が継承していることの一端を千葉市および千葉県在住の方々に知っていただくこともねらいとした。

淑徳大学学長長谷川匡俊の講演を皮切りに、子ども、高齢者、住民など様々な視点から地域と福祉の関係について本学部教員が講演した。最終回には、ノンフィクション作家の沖藤典子先生を招いて、介護を中心に地域福祉のあり方と住民の支えあいについて講演していただいた。受講者数は延べ294名であった。

なお、第1回の長谷川匡俊学長講演の記録を『淑徳大学と大巖寺文化苑』という冊子にまとめ、関係者や関心のある方々に配布した。

第1回 10月15日(土) 淑徳大学と大巖寺文化苑 長谷川匡俊(淑徳大学学長)

第2回 10月22日(土) わがまちの“ふくし”を考えるー行政がやること・自分たちが
できることー 山本美香(淑徳大学講師)

第3回 10月29日(土) 地域における子育て・子育て支援 柏女霊峰(淑徳大学教授)

第4回 11月19日(土) 障害児と地域福祉ー障害児親子が、地域で生きることー

川眞田喜代子(淑徳大学助教授)

第5回 11月26日(土) みんなで支えあう介護をめざして

沖藤典子(ノンフィクション作家)

2. 保育セミナーの開催

本学では、現役保育所保育士および幼稚園教員、そしてその職業を目指している学生を対象に、毎年、保育セミナーを開催している。平成17年度の事業内容は次の通りです。

○ 時 平成17年9月10日(土)

○ 会場 淑徳大学千葉キャンパス5号館102教室

○ 参加者 53名 卒業生、在学生、保育所や施設の現役保育士、その他、本学教員

講演Ⅰテーマ: 「よいおもちゃとはどんなもの」 : 文京学院大学講師 永田 桂子

講演Ⅱテーマ: 「子どもが育つということ」 : 群馬県立保育大学校講師 國吉 栄

・社会福祉研究所 発達臨床研究センター

1. 臨床活動

昭和40年の開学以来、一貫して発達障害幼児の治療教育活動を、「感覚と運動の高次化」の視点のもとに行ってきた。寝たきりの最重度の障害児からLD、ADHDといったボーダーラインの子どもたちまで、障害の種別を問わず受け入れており、これまでの総数は延べ700名を超えている。スタッフは臨床心理士及び臨床発達心理士により構成されている。

臨床方法は、独自に開発された2,000点を超える教材・教具を用いた個別課題学習と3～8名の少人数で音楽療法と認知・運動療法のグループ活動が行われている。いずれも一人ひとりの発達に応じたプログラムが組まれている。平成17年度は、千葉市内を中心とした23名の発達障害幼児を受け入れた。

2. 実習生の受け入れ

社会福祉学科、心理学科の3・4年次生を対象に、障害児初級臨床実習Ⅰ・Ⅱ、心理臨床実習Ⅰ及び障害児上級臨床実習Ⅰ・Ⅱの46名の臨床実習生を受け入れた。1～2名の障害児を継続して担当し、個別課題学習や集団療法に参加した。また、大学院生についても、8名を臨床実習生として受け入れ、より高度な実習を行った。

3. 発達臨床研修セミナー

8月5～6日の2日間にわたり、第30回発達臨床研修セミナーが「発達アセスメントと発達支援を考える」のテーマで開催された。全国の特別支援教育に携わる教員や福祉施設職員を中心に518名が参加した。内容は以下の通りである。

講演1：身ぶりとことばの発達 麻生 武（奈良女子大学）

講演2：子どもの発達臨床的理解と支援の繋がり 宇佐川 浩（淑徳大学）

講演3：発達支援にいかすパネルシアター 古宇田 亮順（淑徳大学）

事例研究1：地域通園施設での個別指導の経過と役割

関口 薫（白井市こども発達センター）

事例研究2：自閉的な子どもの認知指導や遊び場面における「間」の育ち

池畑 美恵子（淑徳大学）

事例研究3：幼児期の療育から小学校の支援の過程

早川 淳子（市川市立養護学校）・石井みや子（淑徳大学）

・総合福祉研究科 附属心理臨床センター

事業内容

平成15年4月に「淑徳大学大学院社会学研究科（現・総合福祉研究科）附属心理臨床センター」が、大学院の臨床心理士養成校として設置が義務づけられていることにより開設した。平成17年度からは、従来の「相談事業」に加えて、新たに「支援事業」を立ち上げた。

1. 相談事業

心理的な援助を必要としている人を対象に臨床心理相談・治療を行うとともに、臨床心理士を目指す学生の臨床実習の場でもある。平成 17 年度相談事業の実績は、個別相談、延べ 109 件、家族相談、延べ 75 件、心理査定、延べ 110 件、相談コンサルテーション、延べ 2 件の合計 296 件である。件数は、前年度比 3.95 倍と飛躍的な増加を示した。開所 3 年目を迎え、センターの存在の認知度が高まってきている。

また、平成 17 年度から新たに立ち上げた「支援事業」は、地域に開かれたセンターとしての地域サービスを目的に、センター運営委員となっている専任教員の専門性を生かした講座を企画し、臨床心理士を目指す学生が実習として準備・運営を行っている。

2. 子育て支援事業

子育て中の保護者を対象に、本学専任教員を講師とした講演会と共催の慈光保育園の保育士による「歌と遊びの指導」で構成し年間 3 回開催しました。6 月 18 日に開催された第 1 回には 57 名が、10 月 22 日に開催された第 2 回には 39 名が、2 月 18 日に開催された第 3 回には 32 名が参加した。

3. 地域支援事業

千葉キャンパスに隣接した大巖寺・白旗等近隣地区住民を対象として、7 月 2 日にセンター運営委員の小川恵助教授を講師に「災害時に地域でつくる心のケア」と題した講演会、交流会そしてセンター・大学キャンパスの見学会で構成し、延べ 63 名が参加した。

4. 地域コンサルテーション事業：教育支援講座

千葉市教育委員会の後援をえて、7 月 28 日に、センター運営委員の千葉浩彦教授と小川恵助教授を講師に開催した。現代の社会問題となっている“うつ”をテーマに、小・中学校の教師を対象とした専門性の高い内容で、講演会とワークショップそして交流会で構成し、合計 92 名が参加した。また、講座開催に先立ち行われたセンター見学会には 22 名が参加した。

5. 臨床心理士資格審査受験対策講座

臨床心理士養成校として貢献するための支援事業として、池袋サテライト・キャンパスを会場に有料の公開講座として開催した。本学の学生以外にも広い地域からの参加者があり、合計 45 名が受講した。

6. 高齢者支援事業

平成 17 年度は、千葉キャンパスで在学生のみを対象とした「回想法講座」として、運営委員の大橋靖史教授と修了生の菅寛子氏を講師に開催した。

7. 心理臨床センター特別講座

池袋サテライト・キャンパスで開催されている淑徳大学公開講座に、センター運営委員である、木村登紀子教授が「フォーカシング講座」、桜井美加助教授が「怒りのコントロール講座」の講師を務めた。

5 学生の活動

- ・ 課外活動の成績（全日本学生レベル以上のもの）

〔団体〕

- 1.吹奏楽部：第47回全日本吹奏楽コンクール千葉県大会（千葉県吹奏楽部連盟）銀賞

6 その他

- ・ 施設・設備の整備事業

平成17年度の施設・設備の整備事業では、学生のニーズに対応すべく11号館学生厚生棟の学生用食堂のリニューアルを行うとともに食堂業者を変更して「学生用食堂のレストラン化」を行った。また、老朽化した体育系部室を建て直し、併せてテニスコート並びに周辺部の整備を行った。